



TAIHEIYO CEMENT NEWS LETTER

2017年8月21日

大分工場における都市ごみ焼却灰の灰水洗によるセメント資源化事業開始について

太平洋セメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 福田修二）は、大分工場（大分県津久見市）内に灰水洗事業プラントを建設し、自治体のごみ処理施設で発生する飛灰を引き取り、セメント資源化を開始します。

日本国内では「循環型社会の形成」に向けて、廃棄物の再資源化が推進されています。なかでもごみ処理施設で発生する焼却灰（主灰および飛灰）は、一部がセメント原料として再資源化されていますが、大半は最終処分場に埋立処分されており、最終処分場の延命のためにもさらなる再資源化の推進が求められています。

大分工場では、2007年よりごみ処理施設で発生する主灰のセメント資源化を実施しておりますが、このような背景の中、当社は2016年12月に大分県および津久見市との三者間で「循環型社会の形成の推進に関する協定書」を締結し、相互協力のもと大分県内廃棄物の再資源化について協議をいたしました。その中で、含有塩素が高いことから再資源化が進んでいない飛灰のセメント資源化について協議を重ねてきた結果、当社の脱塩処理技術である灰水洗事業プラントを大分工場に設置することとしました。新たに灰水洗事業プラントを設置することで、これまでの主灰のほかに大分県はもとより近隣地域を含めた飛灰のセメント資源化が可能となります。

当社は本事業を通して、さらなる資源循環型社会の形成に貢献してまいります。

<灰水洗事業プラントの概要>

名 称	大分工場 灰水洗事業プラント
所 在 地	大分県津久見市合ノ元町2番1号（大分工場内）
事業内容	飛灰の脱塩処理およびセメント資源化に係る事業
処理能力	日量50トン
事業予定	2018年4月より建設工事を着工 2019年4月より事業開始（飛灰 受入処理）
総事業費	21億円

<本件に関する問合せ先>

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ

TEL. 03-5531-7334 FAX. 03-5531-7551

太平洋セメント株式会社

〒135-8578 東京都港区台場2-3-5 台場ガーデンシティビル